



プラグインのインストールおよび UCS ドメインの登録

この章は、次の項で構成されています。

- [ユーザの権限](#) (1 ページ)
- [Cisco UCS Manager Plug-In for vSphere HTML Client のインストール](#) (2 ページ)
- [Cisco UCS Manager Plug-In for vSphere HTML Client のアップグレード](#) (4 ページ)
- [UCS ドメインの登録](#) (4 ページ)

ユーザの権限

Cisco UCS Manager Plug-In for vSphere HTML Client を使用すると、Cisco UCS ドメインを登録および管理できます。Cisco UCS Manager プラグインをインストールするときに、UCS Manager のユーザアカウントを使用して個別に UCS ドメインを登録します。実行できるアクションは、UCS ドメインの登録時に使用した UCS Manager のユーザ権限に応じて決まります。また、各プラグインアクションは Cisco UCS Manager と同じ権限をサポートします。

たとえば、admin 権限を使用して UCS ドメインを登録した場合、プラグインを使用してそのドメインに対してアクションを実行できます。サーバ、ファームウェア、UCS ドメイン、サービスプロファイル、サービスプロファイルテンプレートに対してさまざまなアクションを実行できます。一方、読み取り専用権限を使用して UCS ドメインを登録した場合、Cisco UCS Manager GUI を起動し、登録したドメインを表示することができます。

Cisco UCS Manager プラグインにログインすると、自分が登録したドメインを表示できます。異なる vCenter ロールを持つユーザ、または UCS ドメインを登録したユーザが登録した UCS ドメインは、編集または登録解除することができません。同じ vCenter ロールを持ち、UCS ドメインを登録したユーザのみが、プラグインの編集または登録解除を行うことができます。

ただし、拡張権限があり、登録されたドメインが公開表示可能である場合、他のユーザが登録したドメインを表示することができます。

Cisco UCS Manager Plug-In for vSphere HTML Client のインストール

始める前に

- Flex でプロアクティブ HA をすでに登録している場合は、登録を解除してから、次の手順を実行します。
- プラグイン パッケージが HTTP または HTTPS サーバにホストされていること。プラグイン ZIP ファイルの HTTP または HTTPS URL が、vCenter サーバとプラグインの登録元であるマシンの両方から到達できることを確認します。
- すべての HTML クライアント ブラウザ セッションを閉じます。

手順

ステップ 1 Cisco.com の Cisco UCS 管理パートナー エコシステム ソフトウェアのダウンロードサイトから、Cisco UCS Manager プラグインと、最新の登録ツールの zip ファイルをダウンロードします (バージョン v1.2.0 以降)。

ファイルはローカル ダウンロード フォルダに保存されます。

ステップ 2 登録ツールを解凍し、ダブルクリックして起動します。Cisco UCS プラグインの登録ツール画面が表示されます。

ステップ 3 新しいプラグインを登録するには、次のフィールドを入力します。

(注) 再登録の場合は、次のフィールドがすでに入力されています。

- [IP/ホスト名 (IP/Hostname)] : vCenter サーバの IP またはホスト名
- [ユーザ名 (Username)] : vCenter サーバのユーザ名
- [パスワード (Password)] : vCenter サーバのパスワード
- [プラグインの場所 (Plugin location)] : プラグイン ZIP ファイルの HTTPS または HTTP URL。たとえば、<https://10.1x.1x.1/plugins/ucs/ucs-vcplugin-1.0.1.zip>

(注) UCS Manager プラグインの登録を解除する場合は、[登録解除 (Unregister)] プラグイン ラジオボタンをクリックし、フィールドに入力します。

Flex と HTML の両方をインストールすることはできません。これらの一方のみをインストールしてください。

ステップ 4 [送信 (Submit)] をクリックします。

重要 プラグインが HTTP URL 上にホストされている場合、次のアクションを実行するよう求められます。

「プラグインが HTTP URL 上にホストされている場合、「webclient.properties」という名前の設定ファイルを変更し、「allowHttp=true」を追加する必要があります。(If the plugin is hosted on an HTTP URL, a configuration file named "webclient.properties" must be modified to add "allowHttp=true.")

vSphere HTML/Web クライアント 6.x 以降のリリースでは、ファイルはデフォルトで次の場所にあります。

HTML 6.x:

Windows: C:\ProgramData\VMware\vCenterServer\cfg\vsphere-ui\
VCSA: /etc/vmware/vsphere-ui

Flex 6.x:

Windows : C:\ProgramData\VMware\vCenterServer\cfg\vsphere-client
VCSA : /etc/vmware/vsphere-client

Flex 5.x:

Windows : C:\ProgramData\VMware\vSphere Web Client
VCSA : /var/lib/vmware/vsphere-client

この変更後、vSphere HTML クライアント サービスを再起動する必要があります。

(注) 再登録の場合は、次のメッセージが記載された [登録済み (Already Registered)] 警告ダイアログ ボックスが表示される場合があります。「Cisco UCS プラグイン 3.xはすでに登録されています。(Cisco UCS plug-in 2.x is already registered.) プラグイン ファイルがすでにダウンロードされている場合は、そのプラグイン ファイルが手動で削除され、vSphere HTML クライアント サービスが再起動されるまで、プラグイン ファイルが再度ダウンロードされることはありません。」

メッセージを確認し、[OK] をクリックして続行します。

ステップ 5 HTML クライアント サービスを再起動します。

(注) エラーが発生した場合は、Web ブラウザセッションを再起動します。引き続きエラーが発生する場合は、HTML クライアント サービスを再起動します。

Cisco UCS Manager プラグインが正常に登録されています。

Cisco UCS Manager Plug-In for vSphere HTML Client のアップグレード

手順

- ステップ 1 Cisco.com の Cisco UCS 管理パートナー エコシステム ソフトウェアのダウンロードサイトから、Cisco UCS Manager プラグインと登録ツールの zip ファイルをダウンロードします。
ファイルはローカル ダウンロード フォルダに保存されます。
- ステップ 2 Cisco UCS Provider for Proactive HA が登録されている場合は、その登録を解除します。
Cisco UCS プロバイダーの登録を解除する方法の詳細については、[Cisco UCS プロバイダーの登録解除](#)を参照してください。
- ステップ 3 解凍した .exe ファイルをダブルクリックして、登録設定ファイルを起動します。
- ステップ 4 Cisco UCS Manager プラグインがすでにインストールされている場合、プラグインをアップグレードするよう求められます。アップグレードを確認し、インストールを続行します。
Cisco UCS Manager Plug-In のインストール方法の詳細については、[Cisco UCS Manager Plug-In for vSphere HTML Client のインストール \(2 ページ\)](#) を参照してください。
- ステップ 5 HTML クライアント サービスを再起動します。
- ステップ 6 Cisco UCS プラグインをインストールしたら、Cisco UCS Provider for Proactive HA を登録します。
Cisco UCS Provider for Proactive HA の登録方法の詳細については、[Cisco UCS プロバイダーの登録](#)を参照してください。



(注) どのバージョンの Cisco UCS Manager プラグインからのダウングレードもサポートされていません。ただし、プラグインをダウングレードするには、実行中のバージョンを登録解除し、使用するバージョンを登録し、vSphere HTML クライアント サービスを再起動します。

Flex から HTML への直接アップグレードはサポートされていません。最初に Flex プラグインを登録解除してから、HTML プラグインを登録する必要があります。

UCS ドメインの登録

vSphere HTML クライアントを使用して、UCS ドメインを登録することができます。詳細の編集、登録の解除、以前に登録した UCS ドメインの再登録を行うことができます。



- (注) 読み取り専用権限を使用して UCS ドメインを登録すると、サービス プロファイル、サービス プロファイルテンプレート、およびファームウェア管理に関連するアクションをプラグインを使用して実行することはできません。また、admin 権限を持っていない限り、別のユーザによって登録された UCS ドメインを表示または編集することもできません。

手順

ステップ 1 vSphere HTML クライアントを起動します。

ステップ 2 [ショートカット (Shortcuts)] タブで、[Cisco UCS] をダブルクリックします。Cisco UCS Management Center ビューが表示されます。

ステップ 3 [登録 (Register)] をクリックします。
[UCS ドメインの登録 (Register UCS Domain)] ダイアログボックスが表示されます。

ステップ 4 次を入力します。

- [UCS ホスト名/IP (UCS Hostname/IP)] : UCS ドメインの IP アドレスまたはホスト名。
- [ユーザ名 (Username)] : UCS ドメインのユーザ名。
(注) LDAP 認証については、ユーザ名を *ucs-domainname\username* の形式で入力します。
- [パスワード (Password)] : UCS ドメインのパスワード。
- [Port] : ポート番号。
- [SSL] : Cisco UCS Manager へのセキュア接続を使用する。
- [すべてのユーザに表示 (Visible to All Users)] : このドメインをすべてのユーザに表示するかどうか。

ステップ 5 [OK] をクリックします。

- (注) 証明書を受け入れるように求められる場合があります。受け入れて登録を続行します。

UCS ドメインが登録され、登録された UCS ドメインのリストに表示されます。

Cisco UCS Management Center には次のオプションも用意されています。

ボタン	説明
[登録解除 (Unregister)]	UCS ドメインを登録解除できます。
[編集 (Edit)]	UCS ドメインを編集できます。

ボタン	説明
[再登録 (Re-register)]	UCS ドメインを再登録できます。
